

神戸空港コンセッションの取り組みについて



神戸市みなと総局 空港事業担当局長
香川 賢次

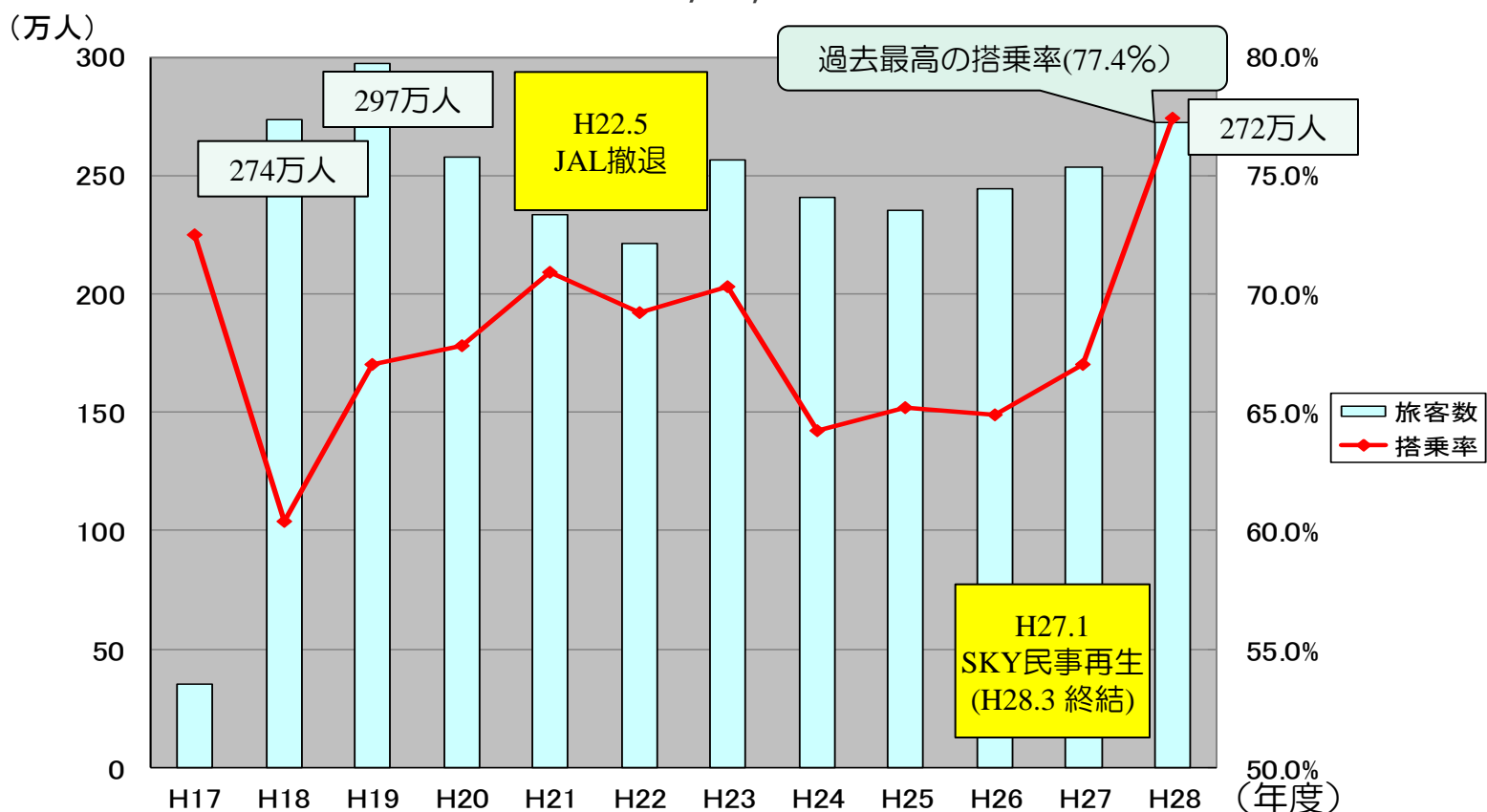
平成29年12月12日

I 神戸空港の概要

① 神戸空港の概要・旅客数



- 設置管理者 神戸市〈平成18年2月16日開港〉
- 滑走路 2,500m〈1本〉
- 運用時間 午前7時 - 午後10時〈15時間〉
- 運用スキーム 発着枠 30往復便/日, 神戸周辺の国内航空需要に対応する地方空港



◎開港以来、累計3,000万人を超える旅客数

I 神戸空港の概要

② 主要都市からの時間・料金



各都市からも近くて便利！



I 神戸空港の概要

③ 就航路線ネットワーク



全国7都市へ、29往復便が就航

(平成29年12月1日現在)

札幌(新千歳)・仙台・茨城・東京(羽田)
長崎・鹿児島・沖縄(那覇)

7月から仙台便復活
より便利に!!



長崎

長崎(3往復)

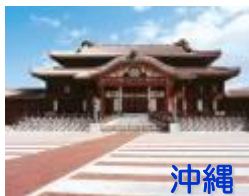
所要時間 約70分



鹿児島

鹿児島(2往復)

所要時間 約70分



沖縄

沖縄(那覇)

那覇(5往復)

神戸～那覇
所要時間 約2時間

那覇～宮古
所要時間 約50分

那覇～石垣
所要時間 約50分

新千歳(6往復)

所要時間 約2時間



札幌

札幌(新千歳)

仙台

仙台(2往復)

所要時間 約80分



仙台

茨城

茨城(2往復)

所要時間 約75分



茨城

羽田(9往復)

所要時間 約70分



東京

神戸

東京(羽田)

長崎

鹿児島

那覇

宮古

石垣

(単位：往復便/日)

路線	SKY	ANA	SNA	ADO	計
新千歳	3	1		2	6
仙台	2				2
茨城	2				2
羽田	7	2			9
長崎	3				3
鹿児島	2				2
那覇	2		3		5
計	21	3	3	2	29

II 旅客の状況

① 全国の空港旅客数ランキング（国内線）



◎神戸空港の旅客数は全国97空港中、15位
地方管理空港 54空港の中 1位
(平成28年度)
(単位：千人)

順位	空港	旅客数
1	羽田	66,093
2	札幌(新千歳)	18,824
3	福岡	17,139
4	那覇	16,955
5	伊丹	15,100
6	成田国際	7,211
7	関西国際	6,570
8	中部国際	5,728
9	鹿児島	5,229
10	宮崎	2,997
11	長崎	2,961
12	熊本	2,948
13	仙台	2,937
14	松山	2,883
15	神戸(*)	2,783

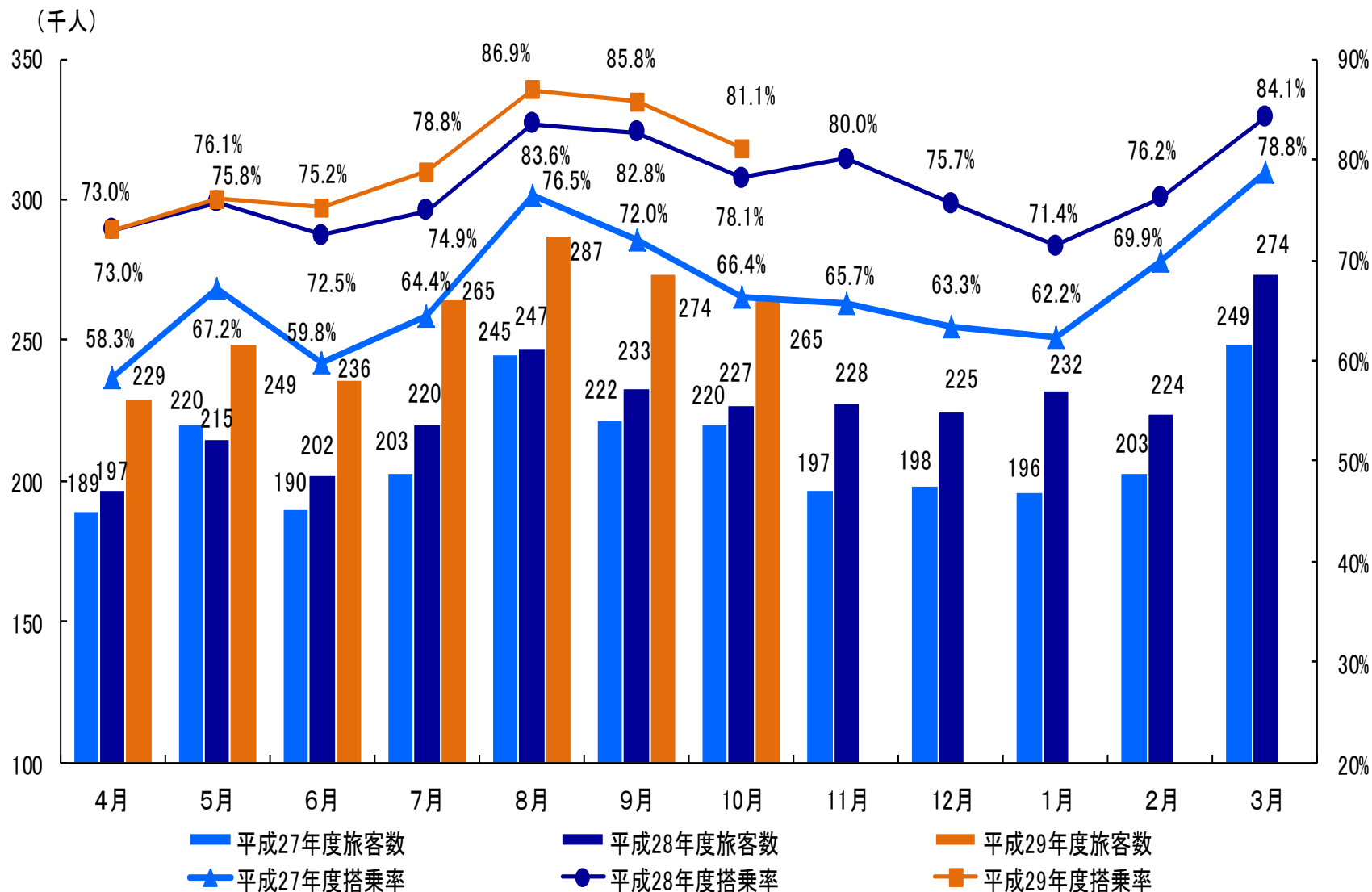
*は地方管理空港

順位	空港	旅客数
16	広島	2,572
17	石垣(*)	2,385
18	大分	1,748
19	高松	1,654
20	宮古(*)	1,559
21	函館	1,541
22	小松	1,515
23	高知	1,431
24	北九州	1,313
25	岡山(*)	1,247
26	秋田	1,225
27	徳島	1,071
28	青森(*)	1,030
29	旭川	1,006
30	山口宇部	947

※旅客数には、チャーター便、小型航空機利用者等を含む
(出典：平成28年度 空港管理状況調書(国土交通省))

Ⅱ 旅客の状況

② 旅客数の推移(平成27年4月～平成29年10月まで) 



II 旅客の状況

③ 旅客数（平成28年4月～平成29年10月まで）



路線名	28年度(H28.4～H29.3)		29年度(H29.4～H29.10)	
	旅客数(人) (前年同期比)	搭乗率	旅客数(人) (前年同期比)	搭乗率
札幌	509,025 (124.0%)	71.7%	322,532 (107.4%)	77.3%
仙台	- (-)	-	72,994 (-)	85.2%
茨城	215,188 (128.2%)	73.9%	122,293 (105.4%)	81.5%
東京	1,081,531 (110.5%)	81.9%	642,130 (102.5%)	83.7%
長崎	273,268 (82.2%)	82.8%	193,551 (147.7%)	75.6%
鹿児島	196,099 (172.6%)	75.9%	121,223 (109.2%)	81.1%
沖縄	449,501 (107.2%)	73.5%	331,892 (129.4%)	74.9%
計	2,724,612 (107.6%)	77.4%	1,806,615 (117.2%)	79.6%
1日平均	7,465		8,442	

※ 仙台線 平成29年7月から復活

II 旅客の状況

④ 国際ビジネスジェット・国際チャーター



税関（Customs）・出入国管理（Immigration）・検疫（Quarantine）をはじめとする関係機関との協議が整ったことから、平成18年9月28日よりビジネスジェットをはじめとする国際機の受入れを開始（国際チャーター便の手続き：CIQへの連絡（運航の2週間前までに連絡）等

【国際ビジネスジェット・国際チャーターの就航実績】（平成29年10月31日現在）

平成18年度～平成25年度 受入機数

103件（神戸空港でCIQ手続きをしたもの72件）（うち国際チャーター便8件）

平成26年度 受入機数： 9件（同上 6件）（うち国際チャーター便2件）

平成27年度 受入機数： 11件（同上 6件）

平成28年度 受入機数： 17件（同上 15件）

平成29年度 受入機数： 9件（同上 6件）

累計 受入機数： 149件（同上105件）（うち国際チャーター便10件）

[神戸・天津友好の翼]

「日中国交正常化35周年・2万人交流計画」の一環として、神戸市の“友好都市”である天津市を交流団約200名が訪問。

＜平成19年度＞ 平成19年9月8日～10日 ＜平成20年度＞ 平成20年9月5日～8日

○両市共催の記念セミナーなど交流行事、動物贈呈など

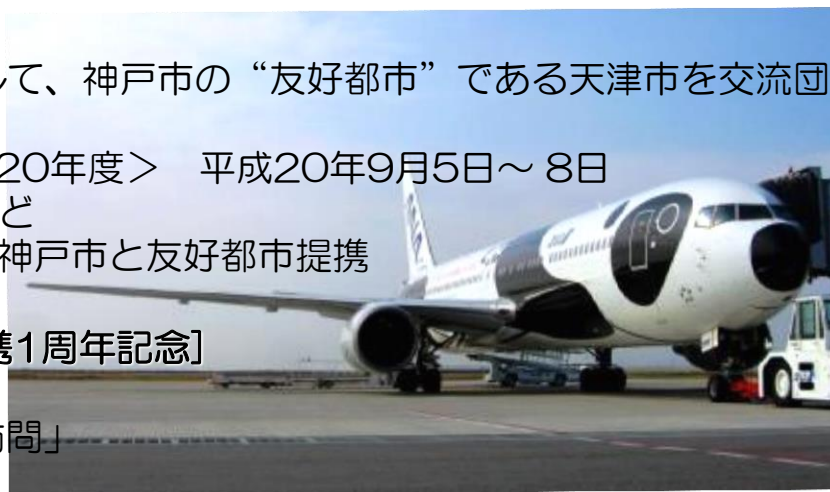
※1973年天津市は中国の都市としては世界で初めて神戸市と友好都市提携

[仁川広域市姉妹都市提携・大邱広域市親善協力都市提携1周年記念]

「仁川・大邱両市との提携1周年を

記念して、170名もの経済団体や市民団体の皆様が訪問」

＜平成23年度＞ 平成23年11月3日～6日



Ⅲ 利用促進の取組み

① 利用促進の取組み状況



• 空の日イベント

主 催：神戸空港利用推進協議会ほか

開催日：本年は、平成29年11月5日

場 所：神戸空港ターミナルビルほか

内 容：（主なもの）

- ①ウルトラセブンがやってくる
- ②空港場内バスツアー、スタンプラリー、スカイマーク格納庫見学



空の日イベント

• 開港〇周年記念イベント

主 催：神戸空港利用推進協議会ほか

開催日：毎年 2月中旬

場 所：神戸空港ターミナルビルほか

内 容：（主なもの）

- ①各種ステージ
- ②就航都市物産コーナー
- ③空港場内バスツアー ほか



開港11周年記念イベント

IV 空港のコンセッション

(国土交通省資料より(一部加工))



① 空港のコンセッションの概要

国管理空港等

民活空港運営法に基づき民間による一体経営を実現し、着陸料等の柔軟な設定等を通じた航空ネットワークの充実、内外の交流人口拡大等による地域活性化を図る。

民間委託手法

国が土地等の所有権を留保しつつ、民間に運営権を設定し、航空系事業と非航空系事業を一体経営

関西国際空港・伊丹空港

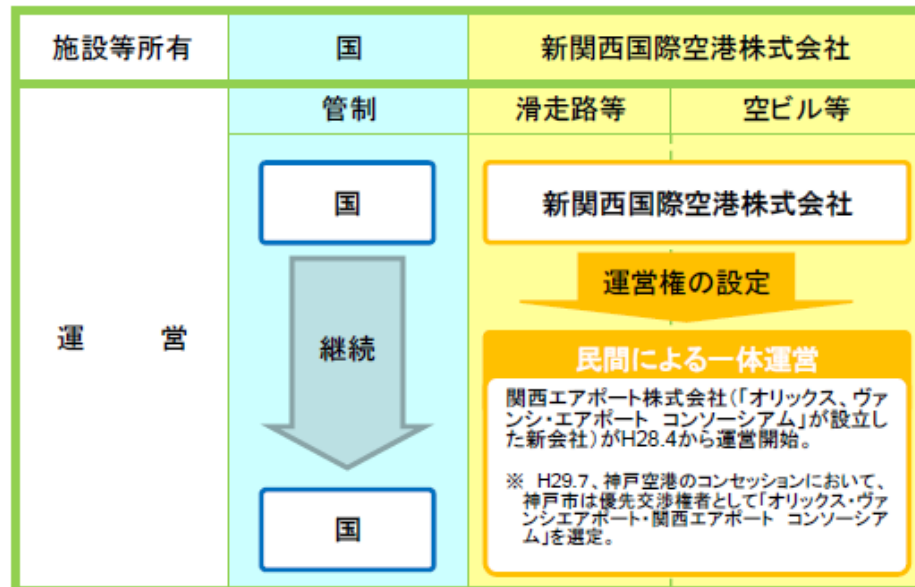
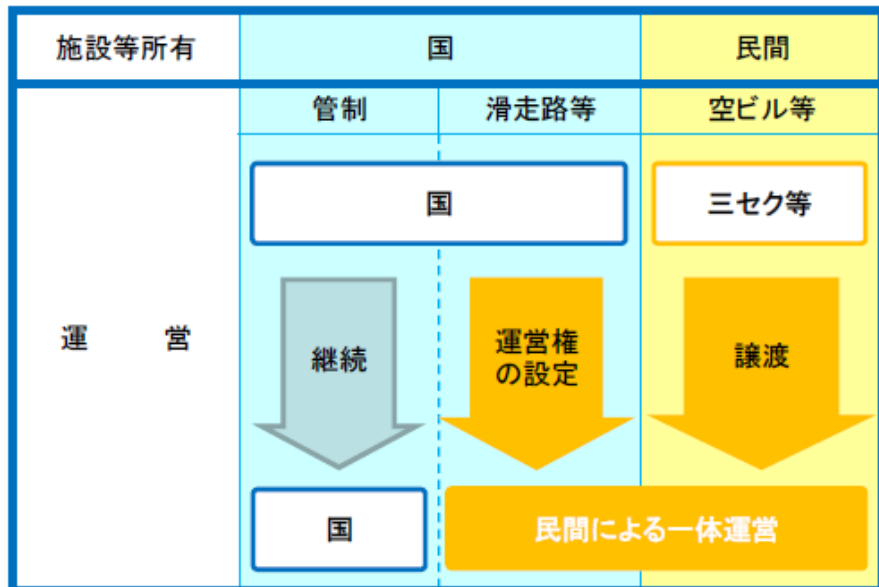
経営統合法に基づきコンセッションを実施することで、関空債務の早期・確実な返済を行い、関空の国際拠点空港としての再生・強化、関西全体の航空輸送需要の拡大を図る。

民間委託手法

新関西国際空港株式会社が土地等の所有権を留保しつつ、民間に運営権を設定し、航空系事業と非航空系事業を一体経営

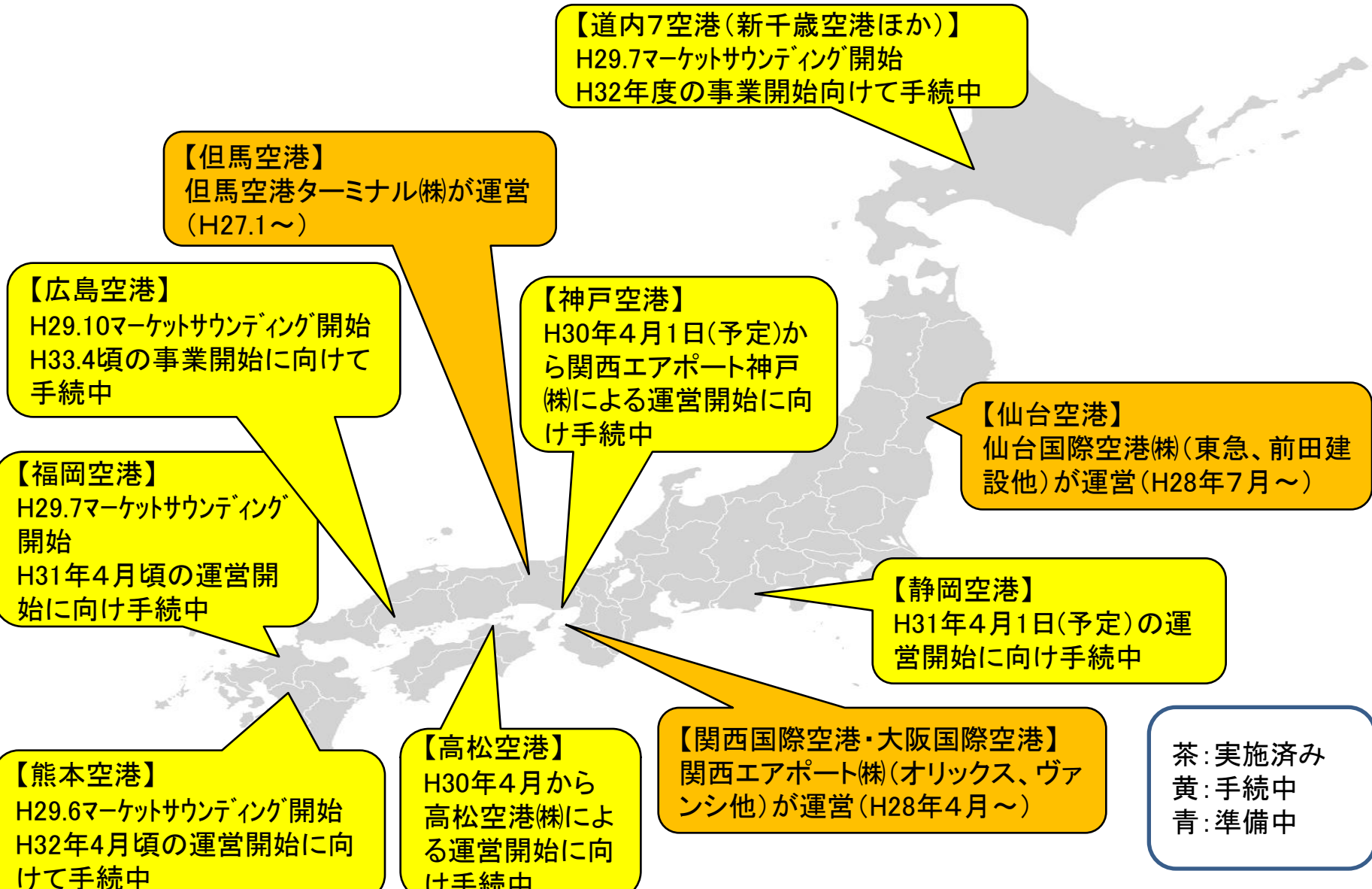
(※) H24.7、新関西国際空港株式会社は、国管理空港であった伊丹空港についても経営統合し、関空との一体運用を開始

(※) 関空の土地については、新関西国際空港株式会社の子会社が保有



IV 空港のコンセッション

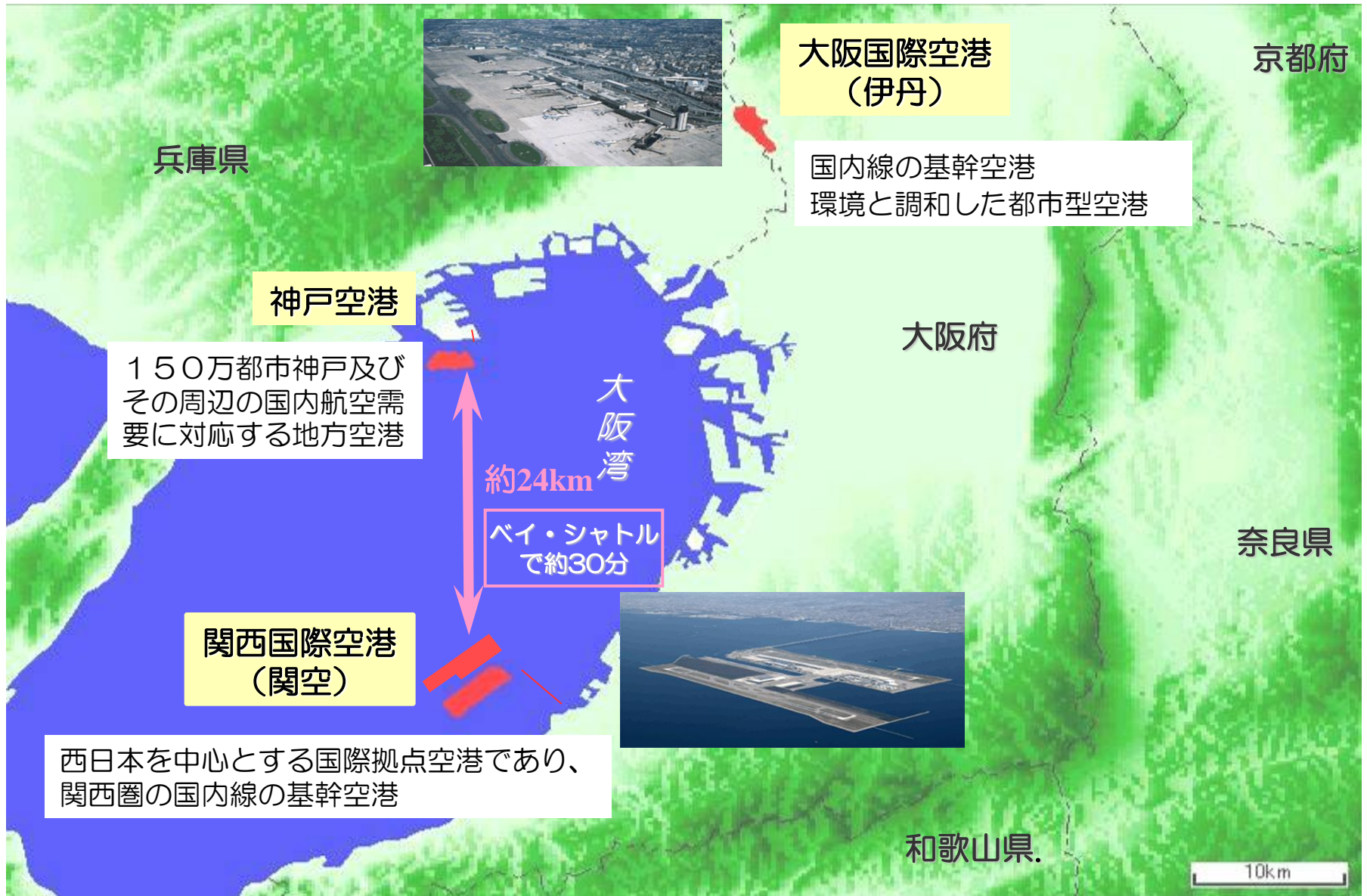
② 空港コンセッションの全国的な動き



茶: 実施済み
黄: 手続中
青: 準備中

V 神戸空港のコンセッション

① 関西3空港の役割



V 神戸空港のコンセッション

② 関西3空港の在り方について



神戸空港のコンセッションの目的

- 本事業は、民間事業者の創意工夫によって、神戸空港と関西国際空港及び大阪国際空港とともに一体運営に資する方策を講じ、3空港それぞれの能力を適切に活用することによって、関西全体の航空輸送需要の拡大、神戸経済の活性化、更には関西経済の発展に貢献することを目的としている。
- また、併せて、神戸空港については、①空港基本施設及び空港航空保安施設、②空港機能施設について、民間事業者の資金及び経営能力を活用することで一体的かつ機動的な空港運営を実現する。

関西3空港の在り方について (関西3空港懇談会(国・関係自治体・関経連等))

(平成22年4月)

一元管理により関西3空港を戦略的に広域に最適活用

既存インフラの有効活用により関西3空港の航空需要の拡大と利便性の向上を図るための中期戦略として、関西空港、伊丹空港、神戸空港それぞれの強みを生かした最適活用を一元管理の中で実現すべきである。

V 神戸空港のコンセッション

③ 関空・伊丹の経営統合と関西3空港のあり方



平成23年5月	関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律
平成24年7月1日	関西国際空港及び大阪国際空港が経営統合し、新関西国際空港株式会社の下での運営開始
平成25年6月	民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律
平成26年7月25日	関西国際空港及び大阪国際空港のコンセッション (長期に渡り運営権を民間事業者に設定)について、実施方針の公表

(参考:実施方針欄外注記)

運営権者は、神戸空港の管理者が神戸空港の運営を他者に行わせようとする場合には、運営権者の下で同空港を一元的に運営することにより、関西国際空港の国際拠点空港としての再生・強化及び関西全体の航空輸送需要の拡大を図る目的から、神戸空港の管理者と交渉を行うことができる。

平成28年4月1日	運営権者による事業開始(関空エアポート(株))
平成28年9月13日	神戸空港のコンセッションについて、実施方針公表

◎関西3空港の今後のあり方

- 利用者の立場にたった利便性向上の観点・関西経済の発展の観点
- 関西3空港それぞれの能力を最大限活用することが重要！

神戸空港もコンセッションを実施、民間活力の導入を図ることに！

V 神戸空港のコンセッション

④ 神戸空港のコンセッションの概要



神戸空港コンセッションの取り組み状況等

平成28年度

- ・ 9月13日：実施方針を公表
- ・ 10月11日：募集要項等を公表

平成29年度

- ・ 6月30日：提案審査書類の提出期限
- ・ 7月25日：優先交渉権者の選定及び公表
- ・ 9月 5日：市議会の議決をへて、関西エアポート神戸(株)に運営権を設定
- ・ 9月26日：実施契約書の締結、業務の引継

平成30年4月1日から関西エアポート神戸(株)による運営開始を予定

(参考) 9月26日 実施契約締結 共同記者会見



V 神戸空港のコンセッション

⑤ 関西エアポート神戸(株) 運営事業の概要について



1. 運営権対価と収益連動負担金（消費税抜）

- ・アップフロントフィー(事業開始前に一括払い) 4億5,000万円
- ・アニュアルフィー(毎年度払い) 4億4,500万円
- ・収益連動負担金 (原則) 営業収益20億円超過金額の3%

2. 神戸空港の運営会社

- ・名称: 関西エアポート神戸(株) 関西エアポート(株) 100%子会社
- ・業務執行体制: 代表取締役社長: 関西エアポート(株)代表取締役社長
代表取締役副社長: 関西エアポート(株)代表取締役副社長
取締役: 関西エアポート(株)経営陣 神戸空港専任の執行役員

3. 関空・伊丹との一体運営の方策

- ・ 関空・伊丹が有する人材、情報、ノウハウ、スキル等の資源を活かした神戸空港運営の品質向上と効率化
- ・ 3空港の人事施策の一体的な運用による空港間の人材交流と多様な経験を積んで空港専門人材の育成

V 神戸空港のコンセッション

⑥ 関西エアポート神戸(株)がめざす神戸空港の姿




1階 到着ロビー（改修イメージ）



2階 搭乗待合室（改修イメージ）



4-1. 活性化施策

 航空需要の成長と非航空系事業活性化の好循環を創出

航空系事業

機材大型化の働きかけ

ビジネス需要喚起

航空旅客の重複（カニバリゼーション）を抑えた
路線誘致

非航空系事業

ターミナルビルの改修による商業エリアの大幅拡張

旅客誘導改善による店舗への入店率向上

搭乗手続きの効率向上と旅客回遊時間の拡大

神戸らしさ、関西らしさが感じられる特色ある商品
構成と店舗でのスピーディーなサービス



これからも神戸空港へ
ご支援賜りますようお願い申し上げます!!

ご清聴ありがとうございました。